

決議案第 2 号

コロナ差別を許さない加東市議会メッセージに関する決議

上記の決議案を、別紙のとおり加東市議会会議規則第 14 条第 2 項の規定により提出
します。

令和 3 年 3 月 24 日

加東市議会運営委員会

委員長 小 紫 泰 良

コロナ差別を許さない加東市議会メッセージ

新型コロナウイルス感染症は、未だ収束の兆しが見えず、市民の皆さんは不安を抱えながら日々の生活を送っています。

マスクの着用、3密の回避等、各種の感染防止対策に努めていてもこの感染症を完全に防ぐことは難しく、誰もが感染者や濃厚接触者になる可能性があります。

しかし、感染者や医療・介護従事者、その家族などに対して差別や偏見により誹謗中傷を行うなど、人権を侵害した悲しいニュースも伝わってきます。

加東市においても、加東市民病院に感染者が入院されたことが判明すると、病院職員に対してタクシー乗車拒否や「濃厚接触者の家族は登校禁止」の張り紙などの深刻な誹謗中傷がありました。

加東市は、兵庫県内では初となる「感染症の患者等の人権擁護に関する条例」を本年2月に制定したところです。また、安田市長も市のホームページや防災行政無線などで「STOP! コロナ差別」のメッセージを発信されています。

そこで加東市議会は、新型コロナウイルス感染症に関する差別や偏見を絶対に許さず、全ての市民がお互いの人権を尊重しつつ平穏に過ごせることを強く願い、次のとおりメッセージを発します。

- 1 新型コロナウイルスの感染者や医療・介護従事者、その家族などへの差別的な扱いや誹謗中傷を絶対に許さない社会を築きましょう。
- 2 感染症の治療にあたる医療従事者をはじめ、わたしたちの暮らしを支えるために感染リスクと隣り合わせで働いている方々に感謝し、みんなで応援しましょう。
- 3 根拠のない噂話に惑わされ、差別や偏見につながるような情報の拡散は絶対に行わず、差別や偏見を助長するような言動には異を唱えましょう。

令和3年3月24日

加東市議会